

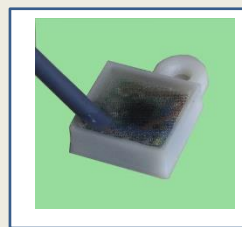
定振幅オプションの特徴(説明資料)

フィーダ振動強度のフィードバックで、運転を安定化します！

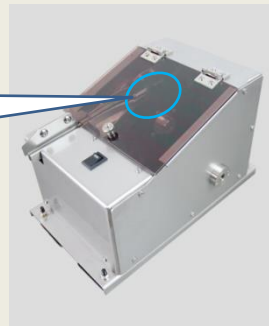
ネジナに使用しております電磁ソレノイド式直進フィーダは、振動強度や周波数を自由に制御できる特徴がありますが、運転を継続していると以下のような変動要因で振動強度の変動し、ワークの送り状態が変化してくることがあります。

- 1)ソレノイドコイルの温度上昇による駆動電流の減少(定電圧駆動のため)
- 2)環境温度による機械的共振点の変動
- 3)ホッパ内のワーク量の変化(カウンターウェイトとして作用して振動に影響を与えます)

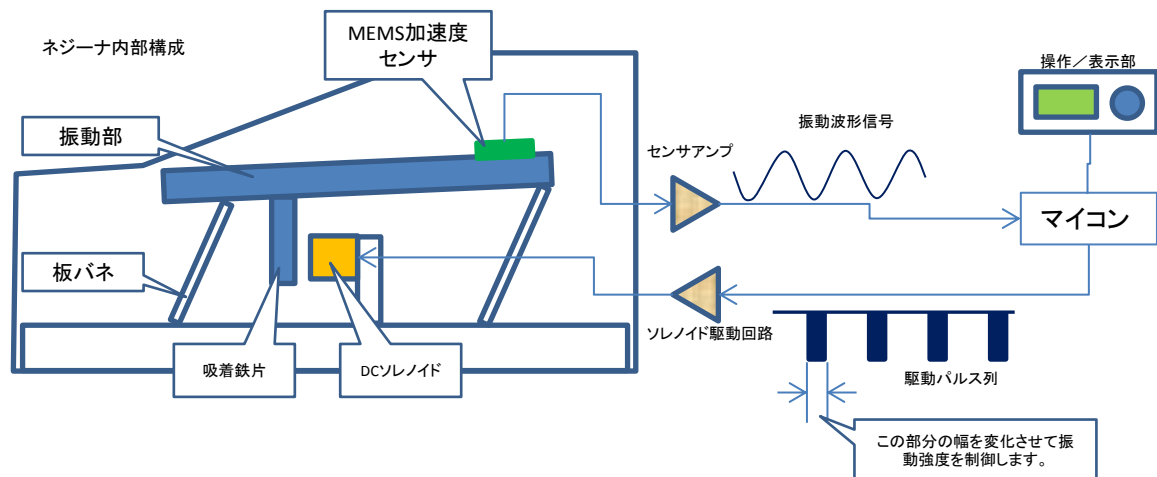
「定振幅オプション」では、このような振動強度の変動を抑制するため、フィーダ内部に振動センサ(MEMS加速度センサ)を取り付けて、振動強度を常に監視して駆動パルス幅に反映させることで、振動強度・ワークの送り状態の安定化を行います。



MEMS加速度センサ



機器構成……



働き……

- MEMS加速度センサからの振動波形を常に監視し、駆動パルスの幅を変化させて、振動の強さを制御します。(瞬間的な変動は無視し、長期的な振動強度の変動を抑制します。)
- 振動状態のモニタ機能や共振周波数サーチ機能で振動の調整を確実に行うことができます。

※本仕様「定振幅オプション」はオプション機能となります。機能追加の際には基板は「デジタル表示付きタイプ」へ変更が必要となります。価格や詳しい仕様につきましてはお問い合わせ下さい。